

氏名	中山和典
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 4912 号
学位授与の日付	平成 26 年 3 月 25 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)

学位論文題目	Long-term effect of cinacalcet hydrochloride on abdominal aortic calcification in patients on hemodialysis with secondary hyperparathyroidism (透析中の二次性副甲状腺機能亢進症患者におけるシナカルセト塩酸塩の腹部大動脈石灰化への長期効果)
--------	---

論文審査委員	教授 大塚 文男 教授 森松 博史 准教授 中村 一文
--------	-----------------------------

学位論文内容の要旨

透析患者において、二次性副甲状腺機能亢進症によってもたらされる骨ミネラル代謝異常が、血管石灰化を促進するものと考えられている。シナカルセトは副甲状腺のカルシウム感知受容体にアロステリックに作用し、血清 PTH, Ca, P 値を同時に低下させることが報告されているが、我々は、シナカルセトの腹部大動脈の石灰化に対する影響を調査するため、MDCT を用いて Aortic Calcification Area Index (ACAI) を測定し、石灰化の推移を評価した。シナカルセト投与 12 か月後には、intact PTH, Ca, P は有意な低下を認めた。ACAI はシナカルセト投与後も低下は認めなかったが、シナカルセト投与前 1 年間の ACAI 変化量と 24 か月から 36 か月の ACAI 変化量を比較すると、ACAI の上昇は有意に抑制されていた。シナカルセトを長期に継続内服することで石灰化の進行が抑制され、透析患者の予後が改善する可能性が考えられた。

論文審査結果の要旨

本研究は、透析患者に発生する二次性副甲状腺機能亢進症による骨ミネラル代謝異常が血管石灰化を促進することを背景に、シナカルセトの効果を検討したものである。シナカルセトは副甲状腺のカルシウム感知受容体に作用して副甲状腺ホルモン分泌を抑制するが、本研究では特に腹部大動脈石灰化に対して、ACAI による定量化を用いて動脈石灰化への影響が評価された。シナカルセト投与後 1 年で副甲状腺ホルモン・カルシウム・リン値の低下を認め、2 から 3 年の時点では ACAI 値の上昇が抑制されるという結果となった。本研究は、透析患者の血管予後における薬剤の作用効果として重要な知見であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。